STARPHONIC Concert Snare Drum
Instruction Manual

TAMA®

ご使用になる前に必ずお読みください。

この度はTAMA コンサートスネアドラムをお買い上げ頂き誠にありがとうございます。製品の機能を十分に発揮し、安全にご使用頂くために、組み立て前に必ず本説明書をお読みください。また本書は大切に保管してください。
TAMA コンサートスネアドラムは、STARPHONIC Bravura シリーズと STARPHONIC シリーズの 2 モデルがラインナップされています。それぞれのモデルで調整方法が異なりますので、お持ちのモデルに対応した説明をご覧ください。

目次

各部名称・・・

スネアワイヤーの調整 -STARPHONIC Bravura モデル -

スターフォニック・ブラヴーラ・モデルでは、スネアワイヤーを上下させることでスネアサイドヘッドとの接触具合を調整できる機構と、3 種類のスネアワイヤーのテンションを個別に調整できる機構を取り入れたマルチ・スネア・フレームを採用しています。次の手順に従い、お好みのサウンドに調整してください。

1. スネアワイヤーのヘッドへの接触具合を調整する

スネアワイヤーを上下させてスネアサイドヘッドとの接触具合を調整するには、ストレイナーとバットの上部にある調整ノブ (写真 1 の A および写真 2 の B) を回して、マルチ・スネア・フレームの高さを上下させます。

スネアワイヤーを均等にスネアヘッドに当てるには、マルチ･スネア･フレームをスネアサイドヘッドと水平にすることが大切です。
ストレイナーのスイッチをオフにした後、ストレイナーとバットのテンション調整ノブを回し、それぞれの六角軸にある丸い印が見える高さを揃えてください (写真 3)。これによりフレームを水平にセットすることができます。

スネアワイヤーの当たり具合が弱い時、または当たり具合が強い時には、ストレイナー側のノブとバット部のノブを均等に回転させて、お好みの高さに調整してください。

写真 1

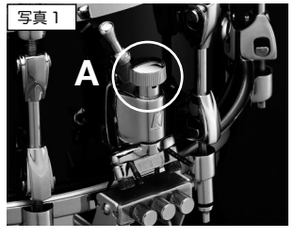
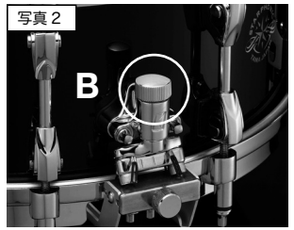


写真 2



2. スネアワイヤー・テンションを調整する

マルチスネアフレームには、サウンドの異なる 3 種類の全面当たりスネアワイヤーを装着することができます。これらのスネアワイヤーはそれぞれ独立してテンション調整を行うことも､3 つを均等に調整することも可能です。

2-1. それぞれのスネアワイヤー・テンションを調整する

それぞれのスネアワイヤーのテンションを調整する際には、まずストレイナーのスイッチをオフにします。そして、ストレイナー側の 3 つの調整ノブ（写真 4 の C）を回して、ワイヤーが地面に対して水平になるように調整してください。※右回りに回転させるとスネアワイヤーのテンションが強くなり、左回りに回転させると弱くなります。

全てのスネアワイヤーが水平になったら、ストレイナーをオンにしてスネアワイヤーがスネアサイドヘッドに接触するようにします。この状態のまま 3 つの調整ノブを回転させ、それぞれのスネアワイヤーのテンションをお好みのサウンドになるように調整してください。
ハイカーボン・コイルはスネア全体の反応を整え、ギターストリングは音の立ち上がりと歯切れの良さを引き出します。また、ブラックコーテッドのナイロンワイヤーは全体のサスティーンを引き締めつつ、シェルの鳴りを引き出す効果があります。

写真 3

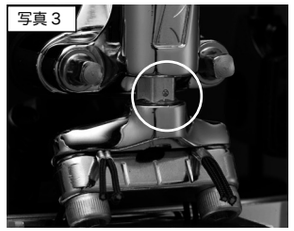
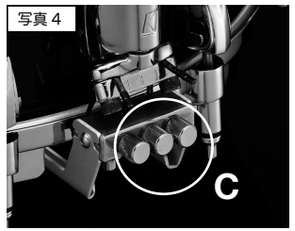


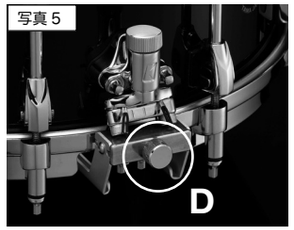
写真 4



2-2. 3 つのスネアワイヤー・テンションを均等に調整する

バット側の調整ノブ D では 3 本のスネアワイヤーのテンションを均等に調整することができます。上記「2-1. それぞれのスネアワイヤー・テンションを調整する」の手順にて、それぞれのスネアワイヤーのテンションを調整した後、調整ノブ D を回してテンションバランスを維持したまま 3 本同時にテンションを調整することができます。

写真 5



※スネアワイヤーのサウンドが得られない場合

ストレイナーをオンにしてもスネアワイヤーのサウンドが得られない場合は、スネアワイヤーがヘッドから離れすぎている可能性があります。その場合、スネアワイヤーのサウンドが得られるまでストレイナーおよびバット部の調整ノブを締めて調整してください。

また、ストレイナーやバット部のノブを締め切ってもスネアワイヤーのサウンドが得られない場合、フレームをスネア本体に繋いでいるスネアコードの長さを短く調整する必要がありますので、次の手順に従ってスネアコードの長さを調整してください。

まずマルチスネアフレーム本体側面にある黒いフックを立てて (写真 6) スネアコードを外し、マルチスネアフレームをスネア本体から取り外します。次にストレイナーとバットの調整ノブを六角軸の丸い刻印 (写真 7) が見える程度まで一旦緩めます。付属の六角レンチ (5mm) で六角ネジ (写真 8 の E) を緩め、ストレイナー側およびバット側に固定されている 2 本のスネアコードを数 mm 引っ張り出すようにして短く調整します。固定する時には、それぞれペアのスネアコードの長さが揃っているか確認しながらしっかりと固定してください。
次に、マルチスネアフレームにスネアコードを引っ掛け、黒いフックを倒してセットします (写真 9)。ストレイナーをオンにする際、マルチ・スネア・フレームがスネアサイドヘッドに対して水平にセットできていることを確認してください。

写真 6

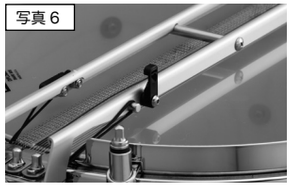


写真 7

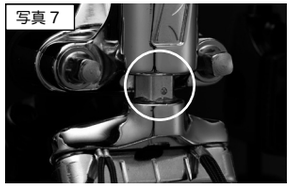


写真 8

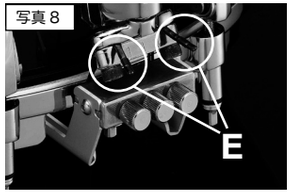
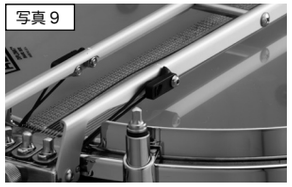


写真 9

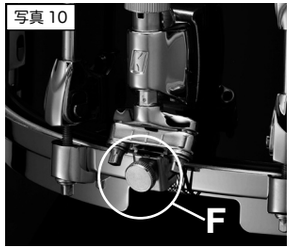


スネアワイヤーの調整 -STARPHONIC モデル -

1-1. ストレイナーを使った調整

スターフォニック・コンサート・スネアドラムでは、中央の 6 本にはギターストリングス、その両サイド 3 本ずつにナイロン・コーテッド・ステンレスワイヤーという、異なるサウンドのスネアワイヤーを組み合わせたハイブリッド・スネアワイヤーを採用しています。
スネアワイヤー全体のテンションを調整する場合は、ストレイナーとバットそれぞれの調整ノブにてテンションの調整を行ってください。

写真 10



1-2. ファインアジャスターを使った調整

スターフォニック・コンサート・スネアドラムでは、スネアワイヤー全体の調整機能に加え､ハイブリッド･スネアワイヤーの中央にある6本のギターストリングスだけを独立して調整するファインアジャスター機能があります。
ストレイナー全体でのテンション調整を行った後、写真 10 の調整ノブ F を回すことで中央のギターストリングスの強弱を調整してください。

スネアワイヤーの交換

[STARPHONIC Bravura モデル]

スターフォニック・ブラヴーラ・コンサートスネアドラムでは、3 種類の異なるスネアワイヤーを装備でき、それぞれを個別に交換することも可能です。

スネアワイヤーを交換する際には、まずストレイナーをオフにしてください。次に交換するスネアワイヤーの両端にある角頭ボルト (写真 11 の G) をチューニングキーで取り外してから、スネアワイヤーのテンション調整ノブを緩め、スネアワイヤーをフレーム本体から取り外してください。

スネアワイヤーを取り付ける際には、スネアワイヤー両端のプレートを写真 12 のようにフックに引っ掛けてから角頭ボルトで固定します。
最後にストレイナー側の 3 つのテンション調整ノブ C を締めて、スネアワイヤーがスネアヘッドと水平になるようにしてください。

写真 11

写真 12

[STARPHONIC モデル]

スターフォニック・コンサート・スネアドラムでは、2 種類の異なるサウンドのスネアワイヤーを組み合わせたハイブリッド・スネアワイヤーを採用しています。
スネアワイヤーを交換する際には、ストレイナーおよびバットの固定プレートのボルト (写真 13 の H) をチューニングキーを使って外し、スネアワイヤーを取り外してください。
スネアワイヤーを取り付ける際には、スネアワイヤーの両端にあるエンドプレートをストレイナーおよびバットに写真 14 のようにはめ込み、固定プレートを被せます。固定プレートはチューニングキーを使ってしっかりと固定してください。
※ストレイナー側にはファインアジャスターが装備されています。スネアワイヤーを交換する際には、このファインアジャスターを忘れずにストレイナー側の固定プレートに取り付けてください。

写真 13

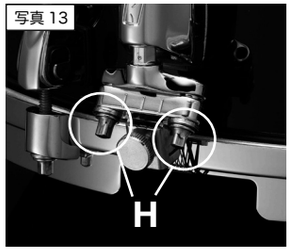
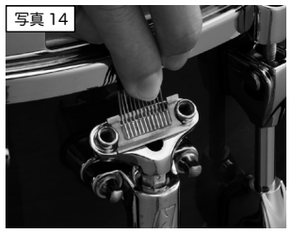


写真 14



スネアヘッドの交換

[STARPHONIC Bravura モデル]

1. 打面ヘッドの交換

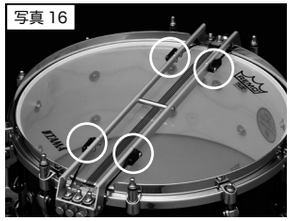
スターフォニック・ブラヴーラ・コンサートスネアドラムでは、ドラムヘッドの交換の際にテンションボルトをフープから抜き取る必要のないフリーダムラグが採用されています。

ドラムヘッド交換時には、テンションボルトを緩めた後、写真 15 のようにフープを固定しているフックごとテンションボルトを斜めに倒し、フープを取り外してください。テンションボルトをラグから取り外す必要はありません。

新しいドラムヘッドに交換した後は再びフープを取り付けて、テンションボルトの先端についたフックをフープの溝にはめ込むように固定します。すべてのテンションボルトの取り付けが終わりましたら、通常のスネアドラムのようにチューニングを行ってください。

写真 15

写真 16



2. ボトムヘッドの交換

ボトムヘッドを交換する際には、最初にマルチ・スネア・フレームをスネア本体から取り外す必要があります。
フレームをスネアドラム本体から取り外すには、フレーム側面にある 4 つの黒いフック (写真 16) を起こして、ストレイナーやバットと繋いでいる黒いコードをフレームから取り外してください (写真 17)。

フレームをスネア本体から取り外した後は、打面ヘッドの場合と同様の手順にてヘッドの交換を行ってください。
また、ヘッドの交換を行った際には、マルチ・スネア・フレームを取り外す時と逆の手順でスネア本体に取り付けてください。その際、黒いスネアコードを黒いフックを倒してセットしてください。フックでの固定を行わない場合、演奏中にフレームが脱落することがあります。

写真 17

[STARPHONIC モデル]

スターフォニック・コンサートスネアドラムでは、ドラムヘッドの交換の際にテンションボルトをフープから抜き取る必要のないフリーダムラグが採用されています。

ドラムヘッド交換時には、テンションボルトを緩めた後、写真 18 のようにフープを固定しているフックごとテンションボルトを斜めに倒し、フープを取り外してください。テンションボルトをラグから取り外す必要はありません。

新しいドラムヘッドに交換した後は再びフープを取り付けて、テンションボルトの先端についたフックをフープの溝にはめ込むように固定します。すべてのテンションボルトの取り付けが終わりましたら、通常のスネアドラムのようにチューニングを行ってください。

写真 18

マルチスネアフレーム取扱い方法

スターフォニック・ブラヴーラ・モデルでは、スネアワイヤーとスネアサイドヘッドとの接触具合を調整できる機構と、3 種類のスネアワイヤーのテンションを個別に調整できる機構を取り入れたマルチスネアフレームを装備しています。工場出荷時には、このフレームはストレイナー側に 3 つのテンション調整ノブが、バット側に 1 つのテンション調整ノブが取り付けられていますが、フレーム本体を取り外し逆向きにセットすることで、位置を入れ替えることができます。

写真 19

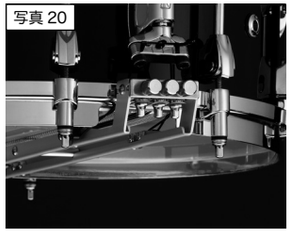
フレームをスネアドラム本体から取り外すには、フレーム側面にある 4 つの黒いフックをオフにして、ストレイナーやバット部と繋いでいる黒いスネアコードをフレームから取り外してください。フレームをスネア本体から取り外したら (写真 19)、本体の左右の向きを反転させて取り外す際と逆の手順で黒いコードをフレームに取り付けます。その際、黒いスネアコードを黒いフックで必ずセットするようにしてください。フックでの固定を行わない場合、演奏中にフレームが脱落するなどの現象が発生することがあります。

[マルチスネアフレームの取扱い上の注意]

※マルチスネアフレームは、スネアワイヤーのヘッドとの接触具合と、スネアワイヤー自体のテンション調整を独立して調整できる 2 つの機能を同時に実現するという機構上、スネアコードのみによるスネアドラム本体とフレームの取り付け方法を採用しています。
そのためフレームに強い衝撃が加わると、フレーム本体およびドラムヘッドやスネアワイヤーに損傷を与える恐れがあります。本フレームに強い衝撃が加わらないようお取り扱いにはくれぐれもご注意ください。

※スネアサイド側のマルチスネアフレーム付近の 4 箇所のテンションボルトには、金属製のスリーブを装着した長めボルトを採用しています。チューニングのために机や床などに置いた時に、机や床にマルチスネアフレーム直接が接触するのを避け、マルチスネアフレームを保護します。
この 4 箇所のテンションボルトを規定の場所以外にセットすると、マルチスネアフレームを保護するための機能が十分に発揮されないことがあります。これらのテンションボルトは既定の場所以外に使用しないようにしてください。

写真 20



※マルチスネアフレームは側面 4 か所に、スネアコードをひっかけるメタルフックと黒いロックレバーが設置されています。ロックレバーをオフにしてスネアコードを外せば、スネアフレーム自体を取り外すことができます。スネアコードを取り外すと再度長さを調整する必要がありますので、必要な時以外はスネアコードを外さないでください。

チューニングの仕方

スネアドラムの性能を十分に引き出すためには正しいチューニングを行うことが必要です。そこでここでは一般的なチューニングの方法を紹介します。

< テンション調整の方法 >
一般的にチューニングは、各テンションボルトの近くのヘッドを指やチューニングキーなどで軽く叩き、写真 21 のような対角線の順に音程を揃えていきます。特定の場所を集中して締めすぎると、ヘッドに偏りが発生するためヘッド全体のテンションを揃えることが難しくなります。
チューニングキーで締める際に抵抗が感じられるくらいになったら、半回転ずつ、4 分の 1 回転ずつなど少しずつテンションを掛けて、ヘッド全体の音程を揃うようにします。
逆に音程を下げる際には、実際に下げる量より少し多めにテンションを緩めた後、若干テンションを上げてから揃えるようにすると、音程を揃えやすくなります。
また、特定の箇所のヘッドの音を聞き分けることは非常に難しいため、ヘッド中央を指で軽くミュートしながらテンションボルトを締めると、各ボルト付近の音程が聴き取りやすくなります。

写真 21

また、スネアサイドのエッジはスネアワイヤーの当たる部分が他に比べて少し深く削られています。したがって、スネアワイヤーの近辺のテンションボルトは他より少し強めにテンションをかけることで、よりスネアワイヤーの反応を高める効果が得られます。

< テンションウォッチによるテンションの確認 >
TAMA ではドラムのテンションを数値化して確認できるテンションウォッチ「TW100」「TW200」という商品を取り扱っています。
このテンションウォッチはヘッドの上に置くだけで、視覚的にテンションを確認することができるため、チューニングを手軽に行うことができるようになります。
※工場出荷時には REMO® の Diplomat® ヘッドで打面ヘッドを 80、スネアサイドヘッドを 55 にセットしています。

テンションウォッチ TW100

テンションウォッチ TW200

< スネアサイドヘッドのチューニング >
スネアドラムのチューニングでは、打面側 (バターサイド) と裏側 (スネアサイド) のバランスを整えることが重要です。基本的にはバターサイドのチューニングを行った際には、スネアサイドのチューニングも行うようにしてください。

TAMA® HOSHINO GAKKI CO., LTD.
星野楽器株式会社 〒461-8717 愛知県名古屋市東区橦木町 3-22
http://www.tama.com/

■ This instruction manual was issued in November 2019. Specifications and design are subject to change without notice.
■ この取扱説明書は2019年11月現在の物です。商品改良のため予告なく仕様を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。